



在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校

# 学校便り Respect



令和3年6月8日

No. 3



令和3年度 6月朝礼あいさつ

校長 川口 浩

みなさん、おはようございます。

皆さんもご存知のように、マレーシアでは、新型コロナウイルスに感染する人たちが増えたため、現在きびしいロックダウンを行っています。先生も、日本の知り合いが心配して連絡をくれたりしました。

先日、新聞にある大学の先生へのインタビュー記事が載っていました。その先生は、国際関係論と言って、国と国との関係を研究している方です。現在の新型コロナウイルスが広がっている中で、国と国との関係で、大切なことは何ですか？という質問に対してこう答えていました。

「私が心配しているのは、それぞれの国が内向きになり、“自分の国さえよければ”という考えになっていくことです。どの国も大変なのはわかりますが、結局このような考え方は、地球全体の問題の解決を遅らせてしまうのです。今こそ我々は、『利他の精神』を発揮しなければなりません。『利他の精神』とは、簡単に言えば、まわりの国々への思いやり、ということです。」

では、なぜ『利他の精神』が大切なのでしょう？この先生は、ワクチンを例にあげてお話をされていました。

「もし、あるお金持ちの国が、自分の国民を守るために、世界中のワクチンを買占めて、それを国民に打ち、その国から新型コロナウイルスは消えました。残ったワクチンは、もしもの時に備えてとっておきました。さて、この結果、世界はよくなったでしょうか？結局、まわりの国からも新型コロナウイルスがなくならなければ、自由に国外に出ることはできず、移動は制限されたままです。また、いつこの国へ、外国からウイルスが入り込むかもしれません。つまり、自分の国のことだけでなくまわりの国のことも考えて行動しないと、世界全体はよくなるということなのです。」

これは、私が、みなさんにいつもお話している『自分も、まわりも良くできる人間』になってくださいということと同じです。

そして、この『利他の精神』は、国と国との関係だけでなく、皆さんの普段の生活でも、とても大切なことなのです。新型コロナウイルスの影響で、病気に感染しなくても、みんな何かのストレスを抱えて生きています。あなたは、それとどう向き合っていますか？お友達や家族にぶついたりしていませんか？それは、心が新型コロナウイルスに感染してしまっているのかもしれませんが、心の感染に役立つワクチンは何でしょうか？私は、人のことを思いやって行動できる人が、ワクチンになれる人だと思います。

皆さんの、日常の会話、振る舞い、視線1つとっても、それをどう使うかで、人を傷つける凶器にもなれば、人を救う道具にもなります。このような時こそ、もう一度自分自身を見つめなおし、どう生きることが自分やまわりの人々にとって良い生き方なのかを、じっくりと考えてみてください。

◎保護者の皆様へ

6月1日からのロックダウンの影響で、オンライン授業が継続となっております。現在の措置は、14日までということですが、その後の見通しは、今後の発表を待たなければなりません。1日も早い登校再会を願うばかりです。

運動会をはじめとする学校行事も、現時点では、見通しが持てない状況です。今後のマレーシア政府の発表を受け、教育省と協議しながら、方向性を見出していきたいと考えます。

ご心配をおかけしておりました、本年度の派遣教員の動向ですが、6月10日に日本を出国し、その後クアラルンプールでの隔離を経て、今月下旬にジョホールに着任予定です。